

万円が平成27年度実績で示した軽減による影響額となっている。

問 池田町・大野町共同学校給食センター建設に際し、児童及び生徒の給食提供に伴うアレルギー対策は。

答 まずは供用開始に向けて6000食の配食を考えている。その後アレルギーに関する除去食については栄養士、学校関係者と協議して進めていく。

問 共同学校給食センターに配属となる職員数は充足しているのか。

答 配食に伴う給食車も5台が必要となり、両町の正職員及び臨時職員を合わせても不足すると思われる。また、将来的には町の管理から指定管理やアウトソーシングも考えており、このことを踏まえ人員配置についても両町で検討している。



着々と工事が進む共同学校給食センター

問 公共施設の浄化槽も経年により老朽化しているが大規模な地震災害を想定し、避難所となる学校などの公共施設は下水道に切り替えず合併浄化槽設置の方針としていたが、公共下水道の供用区域内で切り替えた公共施設はあるのか。

答 指定避難場所は池田町役場、中央公民館駐車場を含め10箇所、指定避難所は宮地小学校、宮地公民館を含め16箇所、公共下水道の供用区域内で接続している施設は、八幡小学校と八幡公民館で他の公共施設は従

来の合併浄化槽を設置している。

問 保健センター及び福祉センターの一体施設を公共下水道に切り替える理由と費用対効果は。

答 保健センターや福祉センターについては避難所に指定されておらず災害時には、ボランティアセンターとなることが想定される。保健センターは避難所となる中央公民館や池田小学校にも近い距離にあり、環境整備を考慮し下水道に切り替える施設と考えている。



ボランティアセンターの中核となる保健センターと福祉センター

コスト面は下水道に切り替えた場合、年間の維持管理費で22万円の経費減額となっている。

問 池田公園グラウンドの利用者やイベントも多くなってきた。将来的にサッカー場として拡張する計画も聞いているが。



屋外スポーツ施設の拠点となっている池田公園

答 現在のサッカー場は指斐川河川敷を利用している。施設や交通事情で不都合な面もあり、子供たちの安心・安全を考え池田公園に移設構想しているが、用地確保

やトイレ施設、照明灯を含め財政面を見極めながら検討していきたい。

地方創生特別委員会

問 動画コンテンツ実施など中学生を活用して、まちづくりに参画はできないのか。

答 昨年度は池田高校の生徒が「I Love Ikeda」に参画して、大きな力を発揮していただいた。池田中学校からは前向きな意見もあるので中高生を含めたまちづくり参画として意識していきたい。

問 池野駅舎の改修に伴い、駅舎トイレは改修できないのか。

答 地方創生事業の施設整備は人口減少に歯止めをかける目的につながる事業が対象となっているため、今回は無人となっている駅舎を改修し、交流のできる会議